庄原市の地域調整会議に出席しました

令和２年１０月９日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、三次市森林経営管理地域調整会議(7 月 9 日)、神石高原町森林経営管理地域調整会議(8 月 18 日)に続き、10 月 9 日庄原市の「令和 2 年度第 1 回森林経営管理地域調整会議」にオブザーバーとして出席しました。会議の冒頭、署長から「今後庄原市が行う森林経営管理事業の支援として、当該事業が行われる民有林に近接、隣接する国有林の森林林施業等に関する情報を提供することで、新たな民有林支援に取り組む。具体的には、民国連携による協調施業・販売や路網の相互利用などを通じた民有林支援に取り組む。」と挨拶しました。

広島北部森林管理署では、管内市町の地域調整会議への参画を通じて、これまで以上に国有林に対するニーズの把握や、それらニーズの実現、森林経営管理制度運用における地域の課題解決に向けて、民国連携した取組を展開できるものと考えています。

今後庄原市においては、昨年度実施した意向調査結果を踏まえ、庄原市への集約を希望するとした民有林について、林業経営の現況評価を行い、将来の集積計画策定、経営管理権設定へと進めていくほか、令和 2 年度意向調査対象民有林の特定作業等に取り組むこととしています。

広島北部森林管理署では、今後森林経営管理事業に近接、隣接する国有林情報を整理・提供し、庄原市において森林経営管理制度がスムーズに運用していくよう、支援していきたいと考えています。

庄原市の森林経営管理地域調整会議の様子

参加機関からの質問に答える庄原市の担当者

広島北部森林管理署では、今年度が森林経営管理制度運用２年目であることから、更なる民国連携、新たな民有林支援に取り組むことが重要と考えており、管内全市町の地域調整会議参画を目指していきます。